

令和4年度（2022年度）第1回柏崎市健康づくり推進会議で出された意見

開催日時 令和4年（2022年）8月25日（木）15：30～17：10

会場 柏崎市健康管理センター3階 集団指導室

1 令和4年度（2022年度）重点活動の推進についてのご意見

【青壮年期への働きかけの強化について】

- ・活動計画の中にからだスッキリ講座、健康づくり宣言事業、かしわざき健康サポートカンパニーという三つの事業があり、対象は企業だと思うが三つもあるということは市の中の部署がこれもいいあれもいいと進めたのではないかと見える。一か所でまとめて実施すると分かりやすいと思う。
- ・健康アプリであるグッピーヘルスケアについても企業にアプローチする時にはぜひ周知を行ってほしい。
- ・企業向け、働き盛りというところでは、経営者の意識が非常に大きいと思う。企業向けには健康経営を前面に説明をいただくと受け入れやすい。
- ・商工会議所では、約70社が集まる6月総会で、健康経営という切り口から健康推進課に資料を作ってもらい話をしてもらった。引き続き、いかに経営者に意識をもってもらえるかというところに協力していければと思っている。
- ・会社に勤めている方は、検（健）診は受けているが受診に結びつかなかったり、1回位は診療所に行くが、それっきりとなったりする方が多い。健康を守るという上では、いかに本人に放置することが危険と分かってもらうか、継続的な受診や自分で健康に気を付けるということを宣伝していく必要がある。

【生活習慣によるがんの予防と早期発見の取組について】

- ・新型コロナウイルス感染症による受診控えとあるが、何年か受診していない人に聞いてみると怖い、自分は大丈夫、やり方がよく分からないとそれぞれ理由が違う。個々に合ったアプローチの仕方を盛り込んだ説明やチラシなどを案内時に入れていただければと思う。
- ・定年などで退職する方たちが、今後検（健）診や特定保健指導、がん検診を必ず継続して受診していただけるように保険者と行政、双方での仕組みづくりが必要だと思う。
- ・検診を受診している方を最後まで対応することが大切。
- ・新型コロナウイルス感染症を発症したり、陽性者が出たりすると、会社自体が運営できない。がんや糖尿病でもそういった状況になるので、事業主からも従業員にアピールできると良いと思う。
- ・子どもたちに私事として落とし込むには、例えば交通事故だとこれだけの方が亡くなっていますなど、具体的に示すことが必要である。そのための可視化する資料があるといい。

2 分野に関連するご意見（重点活動の意見と一部重複あり）

【栄養・食生活】

- ・学校医をしているが、子どもたちに対して健康の話はなかなか伝わりにくい。保護者が関心を持てば、家庭での食事が子どもの頃から習慣化すると思う。保護者を含めての教育は効果があると思う。園も同様だと思う。

【歯・口腔の健康】

- ・歯周病検診の無料クーポンについて、クーポンを見逃したとしても利用できる方法があれば気づいたときに定期的に歯科医院へ行くのではないかな。
- ・歯科医師会では、6月に歯の健康展を開催し、盛況に終わることができた。

【身体活動・運動】

- ・からだ年齢測定会をコツコツ貯筋体操センターでされているという事だが、出前講座のようにコミュニティセンターなどでできるのか知りたい。
- ・体育施設の利用者は、今年は右肩上がりで増えてきている。今回の青壮年期への取組が少しずつ浸透してきているのが見て取れる。徐々に働いている方にも取組が浸透してきているのが感じ取れるため、継続していく事が大事であると感じた。

【循環器疾患・糖尿病】

- ・会社に勤めている方は、検（健）診は受けているが受診に結びつかなくなったり、1回位は診療所に行くが、それっきりとなったりする方が多い。健康を守るという上では、いかに本人に危険と分かってもらうか、継続的な受診や自分で健康に気を付けるということを宣伝していく必要がある。
- ・定年退職など退職する方たちが、今後検（健）診や特定保健指導、がん検診を必ず継続して受診していただけるように保険者と行政、双方での仕組みづくりが必要だと思う。
- ・新型コロナウイルス感染症を発症したり、陽性者が出たりすると、会社自体が運営できなくなる。がんや糖尿病でもそういった状況になるので、事業主からも従業員にアピールできると良いと思う。

【こころの健康】

- ・ゲートキーパー養成講座を学校と地域で行っているが、効果はあると思う。がんというとあまり身近ではないが今は小学生でもリストカットする時代である。教職員に対するゲートキーパー養成講座も響くと思う。

【健康をささえる地域づくり】

- ・健康推進員は地域に密着している。町内で集まりやすい行事、例えばコツコツ貯筋体操などは壮年期の方が定期的に集まるので、その場を通じての活動を地区担当保健師と相談して行っている。昨年度はパンフレットを全戸配布したり、コツコツ貯筋体操の後に講話することで、がん予防や糖尿病予防等健康推進員協議会の活動テーマにあわせ、地域に根差した啓発を行っている。

【その他】

- ・薬剤師会では重複受診されて同じような薬をたくさん飲んでいての方に対し、いかに減らしていくかという取組も行っており、薬剤師1名を県に派遣し取組の相談をする予定である。薬局などで栄養に関する相談があった場合は、市の相談会の場を紹介させてもらっている。